信濃町議会だより

No. 194
令和8年4月30日号

時代の進化がこの町に

第425回定例会　1～3月会議

一般会計予算……1～2
特別会計……3
条例……4
補正予算……5
請願・陳情・人事・賛否一覧……6
一般質問……7～11
全員協議会から……12
政策提言……13
ぎかい活動 365……14
わたしの出番・編集後記……15

発行／信濃町議会　発行責任者／酒井　聡
編集／議会広報調査特別委員会
〒389-1392 長野県上水内郡信濃町柏原428-2
TEL(026)255-2212
印刷／(社福) ながのコロニー長野福祉工場

一般会計予算

令和8年度当初予算

一般会計過去　最大67億

可決 全員賛成

定例会 3月会議

期間

3月3日(火)から23日(月)まで

令和8年度当初予算	8件
令和7年度補正予算	7件
条例関係	11件
農業委員の同意案件	12件
その他	4件

令和8年度は、前年度より4億4450万円多い67億4400万円となりました。小学生への半額支援など、「未来への投資」に重点を置いた予算となっています。

主なもの

自然を回復させるネイチャーポジティブ

４２０万円・３年間で、自然を活かした観光・健康・寄付を生み出す仕組みを構築。

有害鳥獣対策

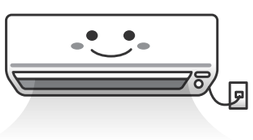
１７１万円で、前年度比１４６万円の増額となっています。主な内容は、猿に装着する首輪の導入や取り付け作業、GPS 通信費の増加によるものです。

信濃小中学校にエアコン設置

信濃小中学校にエアコンが設置されることになりました。

総事業費は1億8100万円で、国の交付金2333万円を活用し、残りは、過疎債により整備を進めます。

なお、第二体育館についても、令和9年度に空調設備の導入を予定しています。



一般会計　賛成討論

小川　敬史議員

賃貸住宅整備や空き家活用、移住定住に向けた取り組み、オーガニック推進、信濃小中学校へのエアコン整備による学習環境の向上と小学生への給食費無償化など、以上の点を評価し賛成の討論といたします。

オーガニック宣言実現に向けて

みどりの食料システム戦略交付金を活用し、オーガニックビレッジ宣言の実現を目指します。令和９年度には、有機農業を生産から消費まで一体的に試行し、信濃町に適した環境にやさしい農業の定着と体制づくりを進めます。

給食費負担を軽減

小学校の給食費は、国の補助に町が不足分２６４万円を上乗せし、無償化を実現しました。

また、中学校については国の無償化はありませんが、信濃町では令和８年度から給食費が半額となりました。

条　例　改　正

条例改正の主な内容をご紹介！

議案第20号　　全員賛成

野尻湖ナウマンゾウ博物館条例の一部を改正する条例について

Q：料金が値上げになった場合、３館券・２館券は幾らになりますか。

A：３館周遊きっぷは、一般1,300円から1,700円、小中学生は750円から850円に、２館周遊きっぷは、一般850円から1,150円小中学生は500円から550円に改定します。

賛成討論　岡本　かおり
施設の持続的な運営を図るためにも、今回の料金改正は避けて通れないものであると考えます。将来にわたり野尻湖ナウマンゾウ博物館を守り、貴重な資料や研究成果を次の世代へと引き継いでいくためにも、必要な措置であると考えます。

議案第18号　　全員賛成

信濃町黒姫高原保健休養地管理棟の設置及び管理並びに管理委託手数料徴収に関する条例の一部改正

Q：スポーツ合宿誘致＆ＰＲしなの合同会社は、令和７年に設立された会社だが、指定管理の経験はあるのか。

A：合同会社の社員に、過去本施設の指定管理を経験された方がいると伺っています。

議案第16号　　全員賛成

信濃町ふるさと移住体験施設の設置及び管理等に関する条例の一部改正

Q：１泊3,500円という金額の根拠は。

A：維持管理費の実費に基づいて計算した金額です。

賛成討論　岡本　かおり
無料から有料とすることにより、単なる短期滞在ではなく、本気で移住を検討されている方が体験施設を利用しやすくなり、移住体験施設本来の目的にも合致するものと考えます。

議案第24号　　全員賛成

信濃町給水条例の一部改正

Q：０立方メートルから8立方メートルの方910件の方々は料金が下がると言う認識で良いでしょうか?

A：ご認識の通りです。

Q：説明の中で１立方メートルあたり14円になるとの説明でしたが、例えば6立方メートル使用した方は、6立方メートル×14円=84円、ここに基本料金の990円を加え、1,074円になると言う計算で良いでしょうか?

A：見込みの通りです。10円未満は切り捨てとなりまして、1,070円となります。

議案第26号　　賛成多数

信濃町農業集落排水条例の一部改正

反対討論　永原　和男
農業集落排水の使用料を3年先まで増額する改正です。ひと月に30立方メートル使用する家庭を例に引き上げ率を計算すると、8年度負担増率は3.3%。9年度は9%。10年度は約16%も負担が増えます。物価高で生活は大変です。住民の理解は得られません。

議案第25号　　賛成多数

信濃町公共下水道条例の一部を改正する条例

反対討論　永原　和男
8・9・10年度の公共下水道使用料を、値上げする条例です。10年度には、年間1万円も値上げとなります。物価高で生活は大変です。中東の戦争により経済の見通しはつきません。3年先までの使用料を値上げすることは住民の理解は得られません。

令和８年度　特別会計予算

予算編成の主な内容をご紹介！

病院事業会計 収入約 15.6 億円、支出約 19.1 億円

町内唯一の医療機関。今回は一般会計から１億4,276 万 3,000 円を繰入れを予定 (赤字補填)

業務の予定量
年間患者数 14,400 人 (入院)、45,000 人 (外来)
(対前年比 11% 減)

水道事業会計 収入約２億円、支出約２億円

給水人口が減少する中、配水池の耐用年数が満期を迎えそうとしている。令和７年度から 11 年度にかけて量水計のスマートメーター化を計画

業務の予定量 給水戸数 5,544 戸
(戸数は前年度より２戸減)

下水事業会計 収入約 4.4 億円、支出約 5.0 億円

少子高齢化による人口減少 (料金収入の減少) と施設の老朽化による更新が重なるなど持続可能な事業運営に課題がある。

業務の予定量 排水戸数 1,880 戸（前年同数）

本議会では、病院事業会計、上水道会計、下水道会計を中心に特別会計の予算が審議されました。病院事業では地域医療の維持に向けた収支改善と設備更新が示され、上水道・下水道では老朽化対策や更新事業に伴う費用増が報告されました。これらに加え、国保や介護などその他の特別会計も前年度比で増額となり、住民生活を支える基幹サービスの安定運営を図る方針が確認されました。

補　正　予　算

三月会議より

～主なもの～

【歳入】

町税
547万8,000円の減
使用料及び手数料
567万2,000円の減
国庫支出金
1,736万4,000円の増
財産収入
1,057万円の増
繰入金
9,800万円の減

【歳出】

一般管理費（総務費・総務管理費）
441万6,000円の減
予防接種事業
861万4,000円の減
病院事業会計負担金
1,702万6,000円の増

一月会議より

～主なもの～

【歳入】

国の物価高騰対応重点地方創生臨時交付金
1億5,321万3,000円の増
国の物価高騰対応子育て応援手当補助金
1,578万7,000円の増

【歳出】

重点交付金生活保護世帯エアコン設置補助事業
117万1,000円の増
重点交付金福祉事業者物価高騰対策事業
222万2,000円の増
物価高騰対応子育て応援手当費
1,580万7,000円の増
プレミアム商品券事業等
1億2,227万2,000円の増

しなのまち地域振興商品券
見本商品券1シート10枚綴

財産の取得について

令和８年度　　スクールバス運行事業
小型バス　三菱ふそう㈱　ローザ　プロライン
29人乗り　６速AT　四駆車
収得金額　12,687,790円
現在の中型バスが次の車検が出来ないという事で今回取得しました。

同型のバスを購入

請願　陳情

請願

野尻湖親水公園「緑・水・風の空間」への公衆トイレ設置及び駐車場設備に関する請願

請願者　野尻区　田辺　洋介
紹介議員　峯村　崇議員

賛成討論　峯村　崇議員

野尻湖親水公園で起きている衛生上の危機と交通安全上の危機を解消するため、公衆トイレと駐車場整備は急務です。地域の善意と覚悟に応え、誰もが安心して楽しめる公園づくりを進めるべきと賛成します。

（採択）

陳情

親水公園

町商工業振興に関する陳情書

陳情者　信濃町商工会　会長　吉川　正市

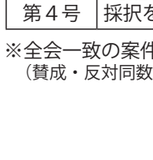
（採択）

「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

陳情者
長野県労働組合連合会　議長　細尾　俊彦
長野地区労働組合総連合　議長　阿藤　仁

賛成討論　伊藤　博美議員

地域ごとの最低賃金の決め方により、現行では203円、額にして年間36万5千円の差があります。この差をなくすためには全国一律の制度が必要です。そのための法改正と国による中小企業と小規模事業への支援を求めます。



（不採択）

信濃町農業委員の任命について

松木　公夫さん（野尻・再任）
村田　洋平さん（野尻・新任）
北村　浩一さん（古海・新任）
高松　昭平さん（柏原・新任）
戸谷　強さん（柏原・新任）
丸山　孝さん（柏原・新任）
吉川　英一さん（富濃・再任）
静谷　八重子さん（荒瀬原・再任）
小林　将登さん（平岡・新任）
齊藤　真一さん（穂波・再任）
丸山　恵里香さん（大井・再任）
外谷　公一さん（平岡・新任）

（全員　同意）

第425回定例会３月会議　議員・議案ごと賛否一覧表

「○」：賛成　「●」：反対　「／」：病気・公務出張等により欠席・議決に不参加　｛議長は議決に参加しない（－）｝

議案番号	議案の内容（要約）	審議結果	松木公夫	村田洋平	北村浩一	高松昭平	戸谷強	丸山孝	吉川英一	静谷八重子	小林将登	齊藤真一	丸山恵里香	外谷公一
議案第25号	信濃町公共下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	－
議案第26号	信濃町農業集落排水条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	－
議案第32号	令和７年度信濃町水道事業会計補正予算（第６号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	－
陳情第４号	「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択	○	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	－

議案番号	議案の内容（要約）	審議結果	岡本かおり	峯村崇	小川敬史	佐藤博一	片野良之	伊藤博美	佐藤武雄	永原和男	橋崎一雄	湊喜一	北村富貴夫	酒井聡
議案第25号	信濃町公共下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	－
議案第26号	信濃町農業集落排水条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	－
議案第32号	令和７年度信濃町水道事業会計補正予算（第６号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	－
陳情第４号	「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択	○	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●	－

※全会一致の案件についてはホームページにてご確認をお願いします。
（賛成・反対同数の場合は議長が決することとなっています。）

信濃町議会　検索

行財政の健全化、公共施設削減は

北村（きたむら） 富貴夫（ときお） 議員

町長　現在116から114施設となっています

残している状況です。

人事交流

質問　姉妹都市との人事交流は。

町長　乗り越えるべきハードルも低くはないと感じています。長野県職員との相互派遣交流は、県及び市町村の職員の交流を深めるとともに、資質の向上にもつながるということで、継続的に実施しています。

※他に農業関連を質問しました。

信越病院関連について

質問　外国人の診療対応は。

病院事務長　保険証のない患者さんは自由診療となり、本年1月からは3倍となる1点30円で請求しています。

質問　注意書き等の英語表記は。

病院事務長　英語等での院内サイン等は、改善の余地があり、今後もさらに検討してまいります。

質問　経営強化プランの状況は。

病院事務長　患者数の伸び悩みや人件費比率の適正化、物価高騰による経費増加などの影響を受けており、多くの課題を

案内に英語表記も必要

町制70周年イベントは

岡本（おかもと） かおり 議員

総務課長　9月30日です

質問　イベント予定は。

総務課長　式典は9月30日に信濃小中学校で開催予定です。

質問　町誌を作りますか。

町長　作成する考えは現時点では持ち合わせていないというのが現実です。

質問　過去の町誌があれば、配布して欲しい。

総務課長　在庫はあり、税務会計課にて販売しているので問い合わせください。

廃食用油について

質問　使用済みの油の回収は。

使い終わった食用油を回収し、
環境にやさしい燃料として再利用する

住民福祉課長　昨年試験的に実施し、本年度から定期的に回収します。廃食用油回収、再資源化は、廃棄物の発生抑制と資源の有効活用を同時に進める取り組みであり、循環型社会の形成に資する重要な事業であると考えております。

※他に一茶200回忌について質問しました。

（一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成しています。）

一般質問

宿泊税をどのように施策へ

小川（おがわ） 敬史（たかし） 議員

産業観光課長　初年度は基金積立、今後活用を検討

質問　宿泊税として、信濃町には年間どの程度の収入が見込まれますか。

産業観光課長　年間672万円示されています。

質問　宿泊税は具体的にどのような施策に使っていきますか。

産業観光課長　初年度は、基金に積立、今後活用方法を細かく練っていきます。

質問　県とは別に町独自として宿泊税条例の制定は検討しましたか。

産業観光課長　独自の税率を上乗せすることで宿泊事業者の経営に影響を及ぼす可能性も考えられますし、インバウンド的な部分でも切迫していないので、今のところ条例制定の考えはございません。

6月から始まる宿泊税
人気の Earthboat kurohime

町長選挙における町長の出馬表明について

質問　次期選挙に向けて出馬の有無はいつ頃までに町民に説明しますか。

町長　現時点で方針を決めていません。然るべき時期に決断し町民に伝えます。

Suicaへの見解は

佐藤（さとう） 博一（ひろかず） 議員

町長　利便性の向上に期待

質問　駅の環境変化に付き、Suica改札機が始まります。見解をお伺いします。

町長　このSuicaの導入により首都圏エリアとの往来が容易になり、利便性の向上につながるものと期待しています。

質問　この改札機に町は補助金は出してますか。

産業観光課長　令和7年度の国補助事業として採択されており、支援対象はSuica導入事業全般であり、個別の支援ではありません。参考までに信濃町の沿線自治体負担金は2227万1000円です。

振興局について

質問　振興局の存続の結論は出ていますか。

副町長　反問権をお願いします。町が振興局に方向性を示すべきとの質問。町はどういう根拠法令に基づいて指導をするべきと言われるのか教えていただきたい。

質問　今の反問権は反論です。特に根拠法令を調べた訳ではありません。解散するか観光協会と一緒になるか、副町長も理事なので役割を果たして頂きたい。

副町長　運営や今後の方向性は法人内部で決定、存続は法人に関わる部分ですので回答は控えさせて頂きます。

信濃町から都会へ
スイスイ♫ Suica

（一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成しています。）

一般質問

湊（みなと） 喜一（きいち） 議員
防犯カメラの設置を無償で

町長　地域の要望、警察との役割分担も含めて検討する課題

質問　一般社団法人日本セキュリティー振興協会が、自治体に無償で防犯カメラの設置を提供する活動をしております。町の防犯カメラの設置は進んでいません。今後の方針をお聞きします。

町長　設置により、一定の防犯効果は期待できますが、プライバシーの問題や、データーの管理をどのようにするか、維持費などの財政課題があり、総合的に判断しなければと思います。

質問　このセキュリティー振興協会は、自動販売機の業界団体が作っている協会で、自動販売機の利益で防犯カメラの設置や維持管理を賄っていくものです。

総務課長　セキュリティー協会の制度は、非常に有利ですので検討に値するかなと思います。地元の意見も聞きますし、警察との連携も必要でしょう。自動販売機にも防犯の啓蒙ラッピングもされるということで、防犯意識の向上も期待できますが、自販機の売上も課題になるかなと思います。

自動販売機の利益で防犯カメラ設置

質問　通学路には設置が必要です。長野県警のライポリスというアプリに、信濃町で不審者が小学生に声をかけるという事案が報告されています。

総務課長　地域の要望とか、危険であると判断に至れば相談しながら検討してまいりたい。

佐藤（さとう） 武雄（たけお） 議員
議会と行政との基本的考えは

町長　お互いにその役割を尊重し適切に連携

質問　議会と行政は権限的には約半々です、これは地方自治法で定められています。行政の皆さんは町長の補助機関で上下関係もございます。なお議会は、上下関係は有りません。ただし役職によっての権限が在ります。議長は3階全てを統理する権限をもっております。我々議員の中には議運決定、そして議長の言う事も聞かず持論を展開している議員もおります。品格のある人、良識のある人が議員と、定義付けられていてこういう人を想定して自治法は作られていないから罰則が有りません。そこで町長この様な議会と行政との基本的な考えを伺います。

野尻湖の将来は！

町長　議会は地域住民の代表として行政のチェック機能を果たしつつ政策の方向性に建設的な議論を重ねる場です。その一方、行政は執行機関として政策等を事業として実施し両者は常に対話と調整を行い互いに役割を尊重し適切に連携していくことが重要と考えています。

＊他に外国資本による土地取得等について質問しました。

片野（かたの） 良之（よしゆき） 議員
訪問介護支援への取り組みは

町長　重要課題であると認識

質問　訪問介護事業者が一つもない自治体が全国で116町村、事業所が一つしかない自治体は279市町村になり、訪問介護空白地帯の拡大に歯止めがかかっていません。

　当町も昨年から事業所が一つしかない自治体です。事業所支援の在り方は。

町長　全国的に訪問介護事業者の減少が進んでおり、在宅介護を支える基盤の弱体化につながっていることは、重要な課題であると認識しています。

訪問介護事業所の減少

質問　町としても重点課題として認識されている人材の確保や共有の部分、どのような形で取り組んで行きますか。

住民福祉課長　全国的に最大の課題がまさに人材不足です。

　町としても予算の承認をいただきながら、人材確保への支援策を講じているところです。

伊藤（いとう） 博美（ひろみ） 議員
学校給食　小学生無償化に中学生は半額に

町長　段階的に検討したい

質問　国は負担軽減を示しました。

町長　小学生は国の支援の枠組みに見合う形で実現しました。中学生については次のステップに踏み出す提案をしました。

質問　国が示した小学生の基準額では足りないと思います。

教育次長　差額は264万です。

質問　中学生の半額補助は評価します。無償化に向けて積極的な検討を。

町長　段階的に検討をしていきます。

楽しく　元気の出る給食にしよう

補聴器補助制度

質問　窓口に相談に来た人、制度を利用した人は何人ですか。

住民福祉課長　12件の方に補助金は交付しました。問い合わせは7人からです。

質問　条件を撤廃し全町民全住民を対象にすべきでは。

住民福祉課長　制度の持続可能性も踏まえた検討を引き続きさせていただきたい。

（一般質問の記事と写真は、質問者本人が作成しています。）

永原（ながはら） 和男（かずお） 議員

生活や営業を守る予算がない

町長　補正予算と関連して組みました

質問　物価高から生活や営業を守る予算が見当たらない。

町長　補正予算との関連で予算を組みました。

8年度国保税について

質問　モデル世帯（夫婦・こども2人・年収400万円）は増税か。年間税額は。

住民福祉課長　7年度と同税率。年税額は44万9千700円。

介護報酬1年前倒しについて

質問　介護報酬の前倒し改定は。

住民福祉課長　補正予算で対応します。

町制施行70周年事業について

質問　町民の声を紹介します。①町出身の文化芸能者による公演②町内の芸術家の絵画・写真展を童話館ギャラリーで③地名看板の更新。

総務課長　主体的な活動については応援したい。県の地域交付金を活用していただければありがたい。地名看板は少しずつ修理や更新をしていきたい。

30年前に設置した組名表示板

峯村（みねむら） 崇（たかし） 議員

観光の方向性は

町長　今後の基本方針を整理していきたい

質問　旧50mプール跡地を含む公園整備が進まず、町の判断の遅れが民間との連携機会を逃しているのでは。

町長　観光審議会で意見を集め、今後の基本方針を整理していきたいと思います。

質問　観光審議会ではどのような議論が行われ、いつ方向性が示されますか。

産業観光課長　現状把握のヒアリングを進め、将来像の柱を定め、8年度以降の事業・予算に反映していきたい。

ペット同伴型観光の可能性について

質問　ペット同伴型宿泊や体験など、民間が育ててきた強みを町としてどう捉えていますか。

産業観光課長　宿泊施設の受入れ実績は把握しているが、飲食・体験の詳細は未把握。過度な行政介入は避けつつ、必要に応じて事業者の意見を聞きながら判断したい。

質問　ペット同伴型観光は町の強みであり、観光ビジョンに盛り込むべきでは。

産業観光課長　自然を生かした滞在型観光と組み合わせた重要なコンテンツとして検討していきたい。

ペット同伴型観光

全員協議会から　※主なもの

2月24日（火）

信濃町過疎地域持続的発展計画（令和8～12年度）について

信濃町過疎地域持続的発展計画（令和3～7年度）の計画期間が令和7年度末で終了することから、引き続き過疎地域の持続的な発展のための施策を推進するため、信濃町過疎地域持続的発展方針（令和8～12年度）を変更する必要があります。

長野県における「過疎地域持続的発展計画」が令和7年12月に改定されたことを受け、当町においても計画を変更することとなりました。

令和8年3月会議議決後に大臣に提出する予定です。

保育環境に関する住民意識調査結果と信濃町保育環境あり方検討委員会からの提言について

信濃町保育環境あり方検討委員会は、子どもの最善の利益を最優先に捉えつつ、教育委員会をはじめとした行政と保育関係者、保護者、地域が連携・協力し、持続可能で質の高い保育環境を築いていくために協議を重ねています。

町内の住民の中から、ランダムで選ばれた方々にアンケートを行い、その結果を踏まえて、子どもの健やかな成長を支え、安心して子どもを産み育てられる地域社会の実現のため、保育園の役割と機能強化の必要性について、3本の柱

① 子どもの最善の利益を最優先する保育

② 家庭と地域を支える「子育て拠点」

③ 環境に配慮した「未来型」の安全・安心な施設

を根幹に今後の保育環境のビジョンを提言したものです。

議会全員協議会のようす

「子ども議会」実施に向けた協議結果について

議会は、学校・教育委員会・議会の三者により令和8年11月中旬を目途に「子ども議会」を実施する方向で協議を進めています（現在は計画段階であり、決定ではない）。

本事業は、町制施行70周年を契機とした取り組みとして位置づけ、既存の教育活動との接続を図りながら、学校現場の実情を最優先に尊重して進めます。なお、過去には平成26～30年度に実施（平成26～28年度は議場で実施）した経緯があります。

事業の目的としては、

① 主権者意識の醸成

② 既存学習との接続

③ 社会参画の体験

を通じ、地方自治や議会の役割を体験的に理解し、将来の主権者としての意識を育み、社会科、総合的学習、ふるさと学習等で得た知識を整理し、表現する機会とし、公共の意思決定の場で質問・意見を発表する経験を通じ、シビックプライド（地域への関心・愛着・誇り）を育成することが目標です。

3月17日（火）

政策提言について

各常任委員会（総務産業常任委員会・社会文教常任委員会）より、令和7年度において検討されてきた、町に対する政策提言の案を議題とし、それぞれの提言内容を了承し、議会最終日の本会議終了後に、町長へ手交する事が承認されました。

ぎかい活動365日

1/20 議会運営研修会

町村議長会主催で開催され、議会運営について研修を受講しました。

1/28 流山市議会表敬訪問

酒井議長・北村副議長・岡本議員・峯村議員が恒例となっている改選後の新人議員の紹介を兼ねて表敬訪問、交流を深めました。

2/17 町村議会広報クリニックで研修

湊議員・岡本議員が参加し、他議会の広報誌を参考に町民の知りたいこと・読みやすさ等々の研修を受講しました。今後の誌面にご期待ください。

2/25 町制70周年記念商工会地域振興懇談会 ～地域からイノベーションを起こそう～

長野県立大学名誉教授真野毅先生の講演会とワークショップを通じて今後の進むべき道について様々な想いを共有しました。

2/27 北部議会研修会

飯綱町議会と共同で男女共同参画社会の実現に向けて長野県男女共同参画センター所長　血脇秀明氏の基調講演後、グループごとのディスカッションを行いました。

3/23　政策提言

1　観光振興と地域経済の活性化について

人口減少や地域経済の縮小が進行する中、人口の拡大経済の活性化を図るため、DMO（観光地域づくり法人）の推進を調査・研究を行いました。また町内の賃貸住宅不足が大きな課題となっている現状を踏まえ、観光施策と住環境整備を一体的に進める検討を行ってまいりました。

DMO は行政・民間事業者・地域住民が連携し地域資源を生かした観光施策を戦略的に推進する仕組みであり、町の将来にとって重要な役割を担うものだと考えます。

以上を踏まえ、次の事項を提言します。

⑴　地域 DMO 設立の推進に当たり、庁内における連携体制の構築や必要な人員配置について検討し、行政のみならず関係団体や民間事業者と連携しながら、継続的かつ主体的に協力して取り組むこと。

⑵　観光振興や移住・定住の受け皿として深刻化している町内の賃貸住宅不足に対応するために、民間活力を生かし空き家の有効活用・賃貸住宅整備の支援策や環境整備を検討すること。

⑶　令和 10 年開催予定の第 82 回国民スポーツ大会オープンウォータースイミング種目（野尻湖）を契機とし、会場周辺の環境整備、動線確保、案内表示の充実など、将来の観光活用を見据えた周辺整備を関係団体や住民を交えて計画的に進めること。

⑷　観光施設と住環境整備、スポーツイベントを相互に連携させ、交流人口・関係人口の拡大、および地域経済の活性化に努めること。

2　生活環境と景観の保全について

再生資源物屋外保管施設が増加し、周辺住民から不安の声が寄せられています。現状を視察調査し、問題点や課題を検討し、研究してきたところです。住民の生活環境と町の景観を守るため、次の事項を提言します。

⑴　再生資源物屋外保管施設の設置に関する条例を制定すること。

⑵　行政指導の指針となるべき「再生資源物屋外保管施設の設置に関する指導要綱」を早急に制定すること。

3/25 北部衛生センター閉所式

し尿汲み取り世帯の処理を行ってきた北部衛生センターの閉所式が、執り行われました。

老朽化と処理世帯の減少があり、下水処理場への投入設備の完成・稼働により、長年処理を行っていた北部衛生センターし尿処理施設は、取り壊すことになりました。

こんにちは わたしの出番（でばん）です

考えたい将来の農地の姿

原　土屋　貴志さん

酪農を営んでいます。就農して35年になりました。始めた頃、町内には50戸以上の酪農家があり、稲作と並ぶ生産規模でした。しかし、情勢の厳しさや後継者不足などにより、今ではわずかな戸数になってしまいました。かつての緑の牧草地も、多くが荒れ地になっています。

稲作農家さんは今でも町内の農地を支えてくれていますが、農家数は減少の一途で、高齢化が進み、10年後にどれだけ農地が維持できているのか不安です。将来の農地と景観を守るためにも、この問題は先送りできません。農家だけでなく、町全体で考えていく必要があると思います。

荒れた農地にクマやイノシシなどの野生動物が出る風景は、見たくありません。

人々の優しさと四季の移ろいを肌で感じる日々

東町　田村　久子さん

夫が信濃町の自然に魅了されたことがきっかけで、一年前に千葉県から移住してきました。

縁もない土地で暮らしていけるのかと不安に思っていましたが、近所の方々が生活の知恵を教えて下さったり、美味しい野菜を分けて下さり、忘れかけていた人々の温かさがここにはありました。自分で育てた野菜や頂いた食材で食卓を囲む喜びは、心の豊かさをもたらしてくれました。

四季折々に移り変わる里の景色、美味しい水、山々の凛とした空気が流れ込む生活は非常に贅沢で、子供達も今まで触れることの少なかった自然から沢山のことを学んでいます。

信濃町での暮らしは、季節の変化に敏感になり自分達の手で生活を形作っていく面白さを教えてくれます。「大切なものだけある。」そんな毎日に、移住して本当に良かったと感じています。

編集後記

前号から紙面が少し変わったのですが、お気づきでしょうか。文字が小さいと読みにくいのではと思い、一部ではありますが大きな文字に変えてみました。読みやすくなったとか、あるいは以前の方が良かったとか、色々ご意見があると思います。ぜひ皆様のお声をお聞かせいただき、今後の紙面づくりの参考にさせていただければ嬉しいです。（岡）

～議会広報調査特別委員会～

委員長　北村　富貴夫　　副委員長　片野　良之
委員　　湊　喜一　　小川　敬史　　岡本　かおり　　峯村　崇

Fax 026-255-3081　E-mail:gikai@town.shinano.lg.jp

次回定例会６月会議は、６月４日から始まります。
一般質問は５日と８日の予定です。
ぜひ傍聴にお越し下さい。

表紙の写真

この春、黒姫駅に交通系ＩＣカード「Ｓｕｉｃａ（スイカ）」が導入され、これまで有人駅だった黒姫駅も無人駅となりました。少し寂しさも感じますが、切符の購入が不要になるなど、より便利に利用できるようになります。これからも地域の大切な交通拠点として親しまれる駅であってほしいと思います。（湊）